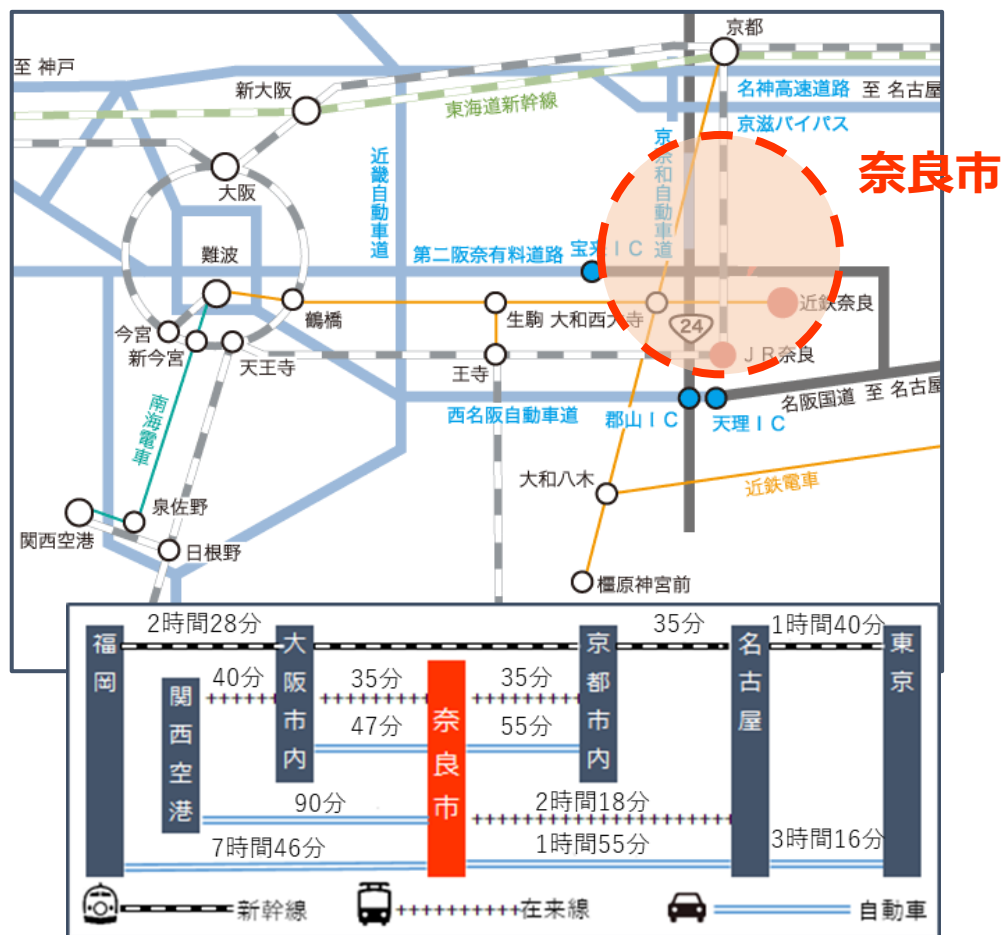
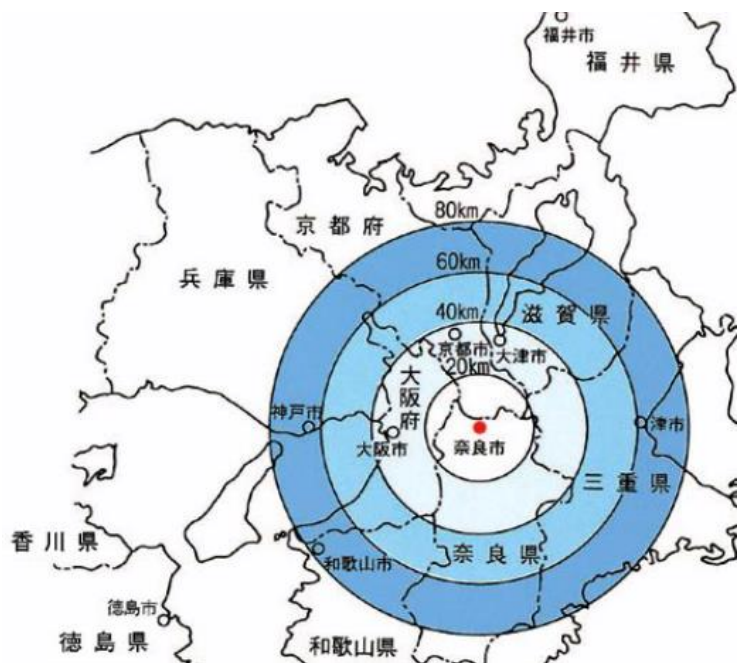


本市の企業誘致の取り組み

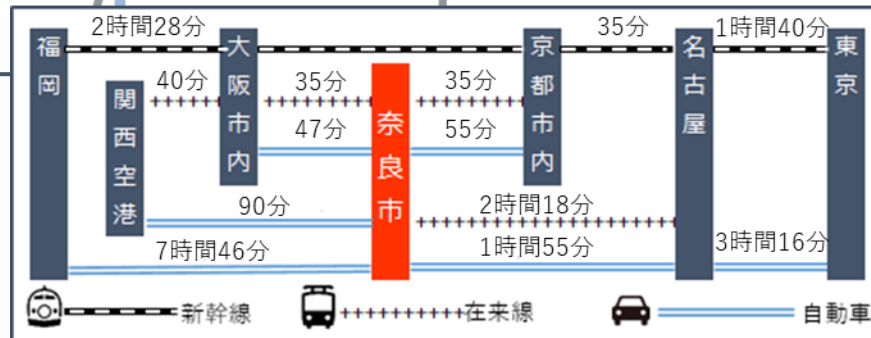
「働くまち」としての奈良」の好循環

優れた交通アクセス～主要都市への往来利便性～

鉄道(JR・近鉄)や市内を通る高速道路を利用し、大阪や京都へ軽快なアクセスが可能、交通の便が良い。



大阪市からは約25 km、京都市からは約35 km、
いずれも電車で35分程度に位置している。



本市の企業誘致の取り組み

「働くまち」としての奈良」の好循環

更に便利に:リニア中央新幹線誘致

- 奈良市はリニア中央新幹線の新駅誘致に取り組んでいる。
- 東京－奈良間が約1時間でつながり、首都圏からのアクセスが大幅に向上する。
- 新駅は関西圏のほぼ中心に位置し、奈良市を起点としたビジネス展開が可能。



さらに

奈良インターチェンジ（仮称）の開設で、
関空↔奈良間が最短50分で連結します。

本市の企業誘致の取り組み

「“働くまち”としての奈良」の好循環

豊かな人材

教育機関の集結

- ・ 人口あたりの**大学生数**が中核市で**7位**
- ・ 市内に **7大学 1短大 15専修学校**が立地
- ・ 奈良女子大学では**女子大初の工学部**を設置



➡多数の大学・教育機関の立地は人材確保に有利です

※さらに、奈良県内には**奈良工業高等専門学校**や**奈良先端科学技術大学院大学**も立地しています。

女性の潜在労働力

- ・ 奈良県の女性就業率は全国最下位
- ・ 市内女性の**約9割が働く意欲があると回答**
(職住・育住近接)



連携協定

高等教育機関との連携を強化するため、先端大・奈良高専・奈良女子大と産業振興についての相互協力・連携に関する協定を締結しました。



本市の企業誘致の取り組み

「“働くまち”としての奈良」の好循環

自然災害リスクの少なさ

奈良市は自然災害のリスクが少ないエリアです。海、火山、大きな河川がなく、貴重なデータを取り扱う業種の方にも安心です。

災害が少ない



本市の企業誘致の取り組み

「働くまち」としての奈良」の好循環

クリエイティビティを刺激する環境

市街地のすぐそばに存在する歴史・文化・自然は、クリエイティビティを高める働き方に。藝大の研修施設が設置されているほか、Googleなどが“集中力向上”“リフレッシュ”等を目的に研修で取り入れている禅の文化を体験できるのも奈良市の特徴の一つである。



禅寺



平城京大極殿



奈良公園



春日原始林



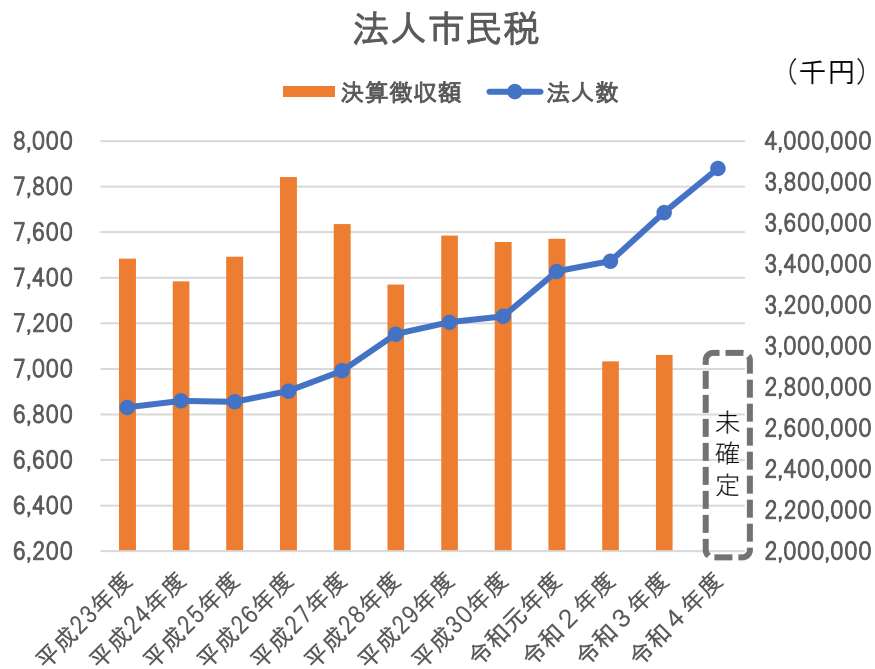
若草山焼き

本市の企業誘致の取り組み

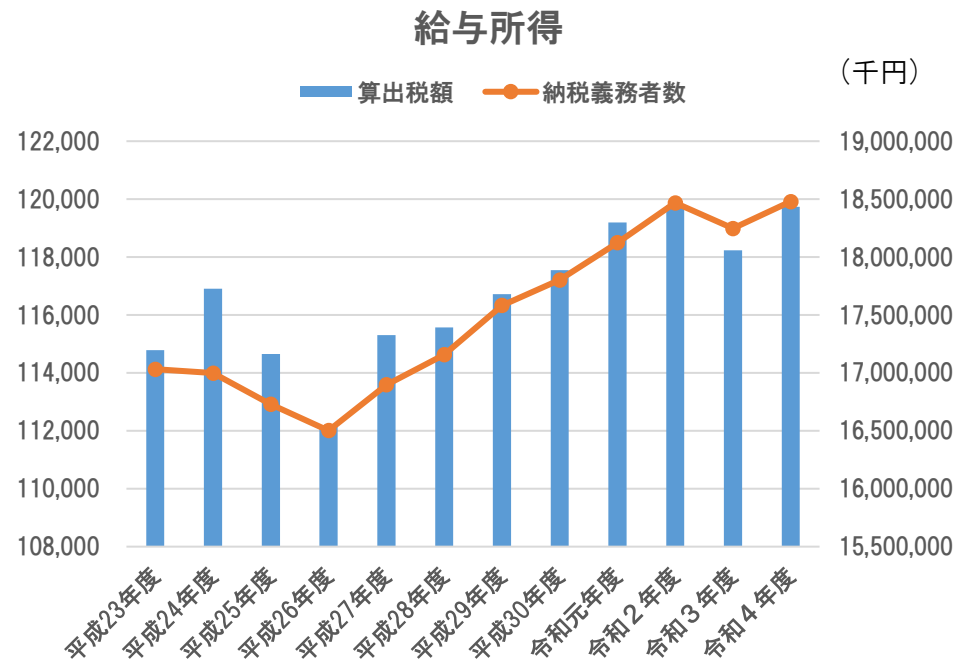
【背景】

税収構造

- 法人数は増加しているものの、**法人市民税は横ばい**。令和2・3年度は、コロナ禍の影響で減少。
- 個人市民税における給与所得者は、納税義務者と所得金額はともに増加。
中核市比較においては、**法人市民税額は下位、個人市民税額は上位**にランク。



(出典)奈良市税務概要
法人数・法人市民税の決算智用定額(現年課税分)



(出典)奈良市税務概要
年度別所得者区分別(給与所得者)所得割額等の推移

令和3年度 決算	法人市民税(千円)				個人市民税(千円)			
	税額		市民1人当たり		税額		市民1人当たり	
奈良市	2,984,537	43位	8.5	51位	22,324,229	26位	63.4	14位
62市平均	3,991,498		11.0		21,267,665		58.4	

(出典)中核市都市要覧

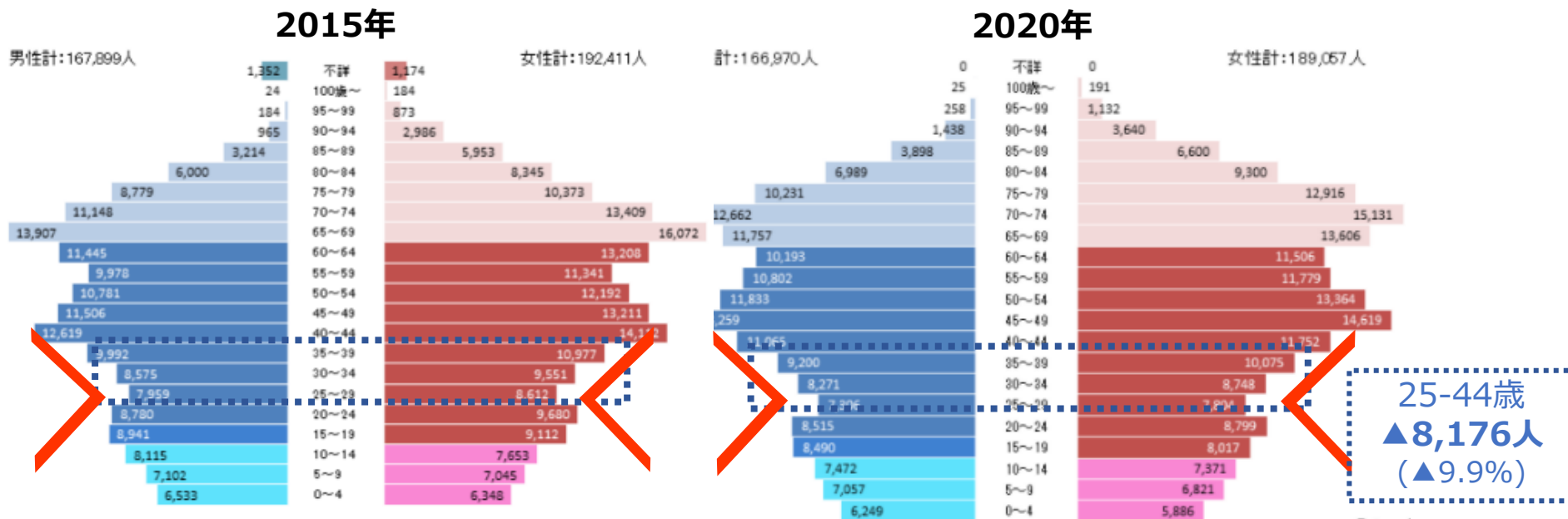
本市の企業誘致の取り組み

【背景】

若年層の市外流出

奈良市の人口構成は「くびれ型」の構造になっており、地域の担い手となり得る25～44歳の若年就業者層が少ない。市内には大学が集積しており、学生層（15歳～24歳）は一定規模居住しているが、大学卒業を機に働き先を求めて区域外に流出し、また若年就業者層の流入も見られないと推察される。2015年と2020年で比較したところ、若年就業者層はさらに減少傾向にある。

奈良市人口ピラミッド



© in.ed

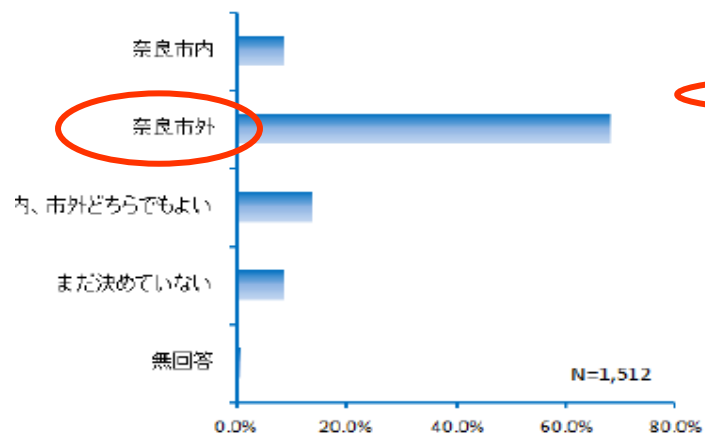
本市の企業誘致の取り組み

【背景】

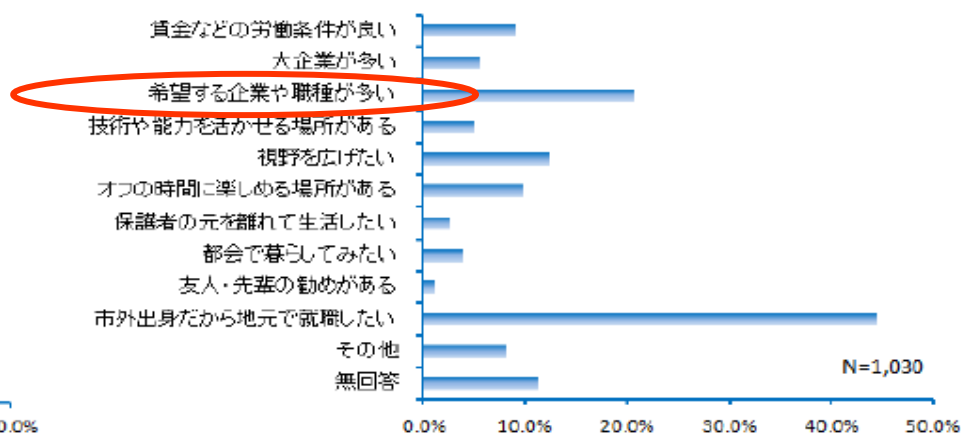
若年層の市外流出:要因

若年層が就職を希望する業種と、市区域内の職種に乖離があることも、若年層(特に大学卒業時)が市外に流出する主な要因となっていることが推察される。

図表 I-21 就職を希望する地域



図表 I-22 市外での就職を希望する理由



※奈良市「市内在学大学生就業・起業に関する意識調査」(平成25年)による

'21卒就職希望業種ランキング

※調査機関：unistyle (有効回答数25,200人)

- 1位：メーカー（食品・医薬・生活・他） 18.47%
- 2位：商社（総合・専門） 13.53%
- 3位：メーカー（自動車・機械・電気・素材） 10.41%

- 4位：IT・情報通信 8.45%
- 5位：金融・保険 8.04%
- 6位：コンサル・シンクタンク 7.96%

本市の企業誘致の取り組み

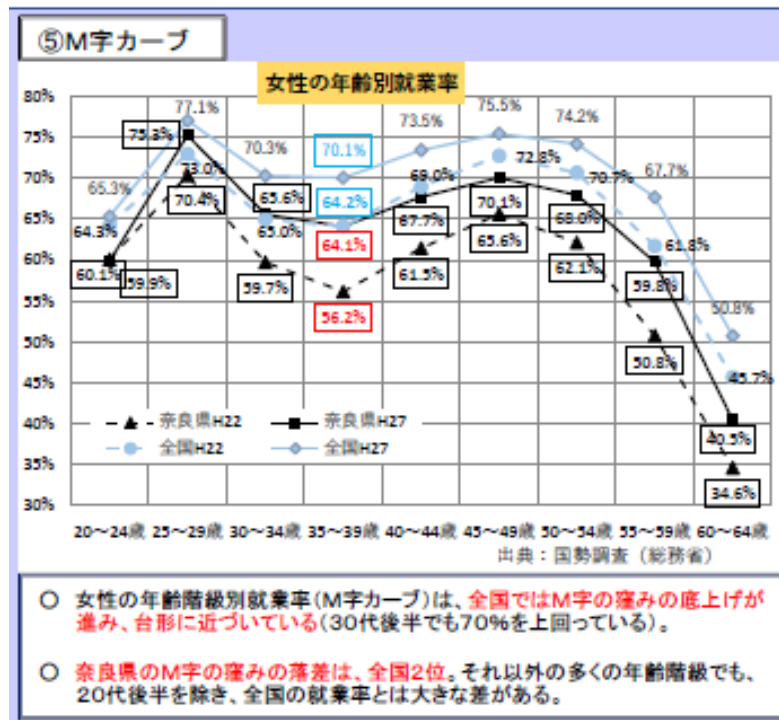
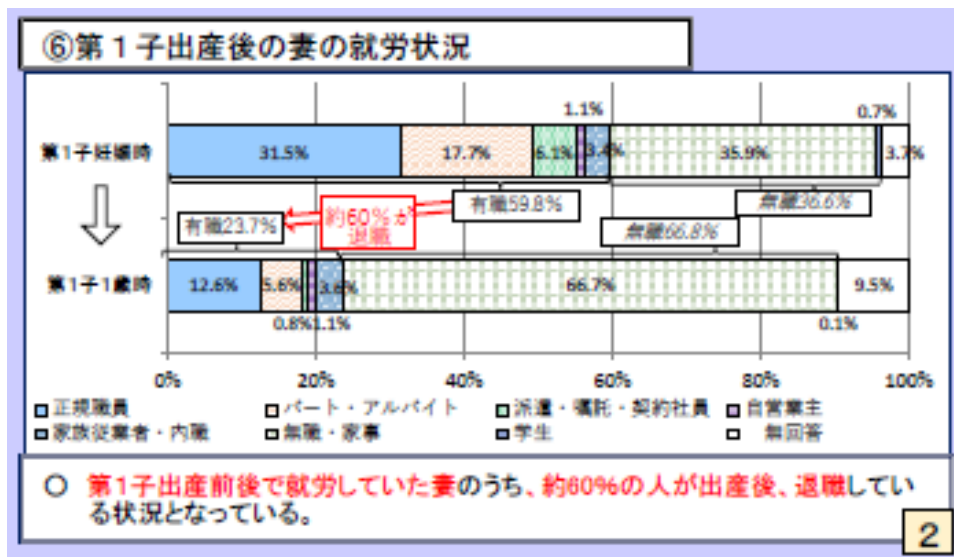
【背景】

女性就業率の低さ

奈良県は女性の年齢階級別就業率のくぼみ(M字カーブ)の落差が全国2位であり、20代前半を除き、全国の就業率との大きな乖離がある。また、第一子出産前後で就労していた妻のうち、約60%もの女性が出産後に離職している。

市内では、子育て中の女性の内71%の女性は就業を希望(※)しており、就業希望者が多いにも関わらず女性の就業率が低いことが分かる。

※平成28年度「子育て期女性の仕事と生活に関するアンケート調査(女性調査)報告書」の結果より



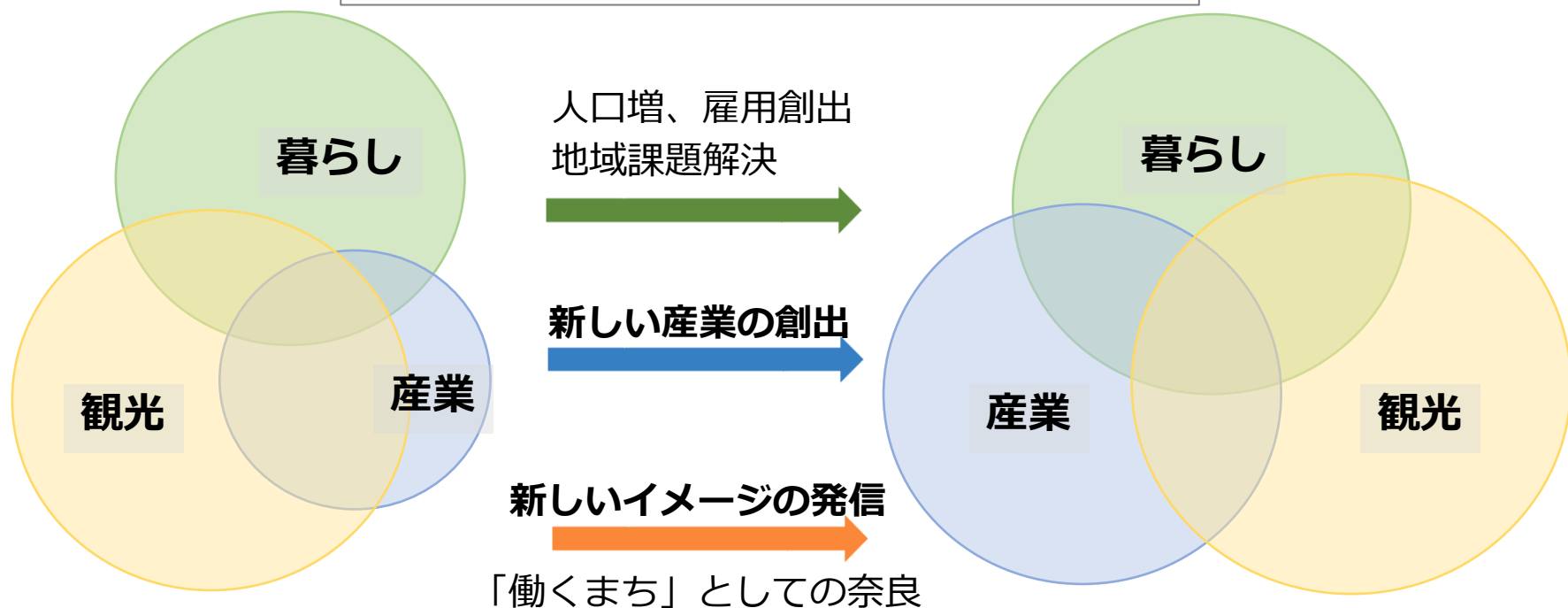
↑ 平成30年度奈良県子ども・子育て支援推進会議(第1回)「資料3 本県の子ども・子育てに関わる現状について」から一部抜粋。

本市の企業誘致の取り組み

目指す未来

「観光」「暮らし」「産業」がバランス良く相互に循環する仕組みを創り、持続的に発展するまちを目指す

新しい価値を生み出す「選ばれるまち」の実現

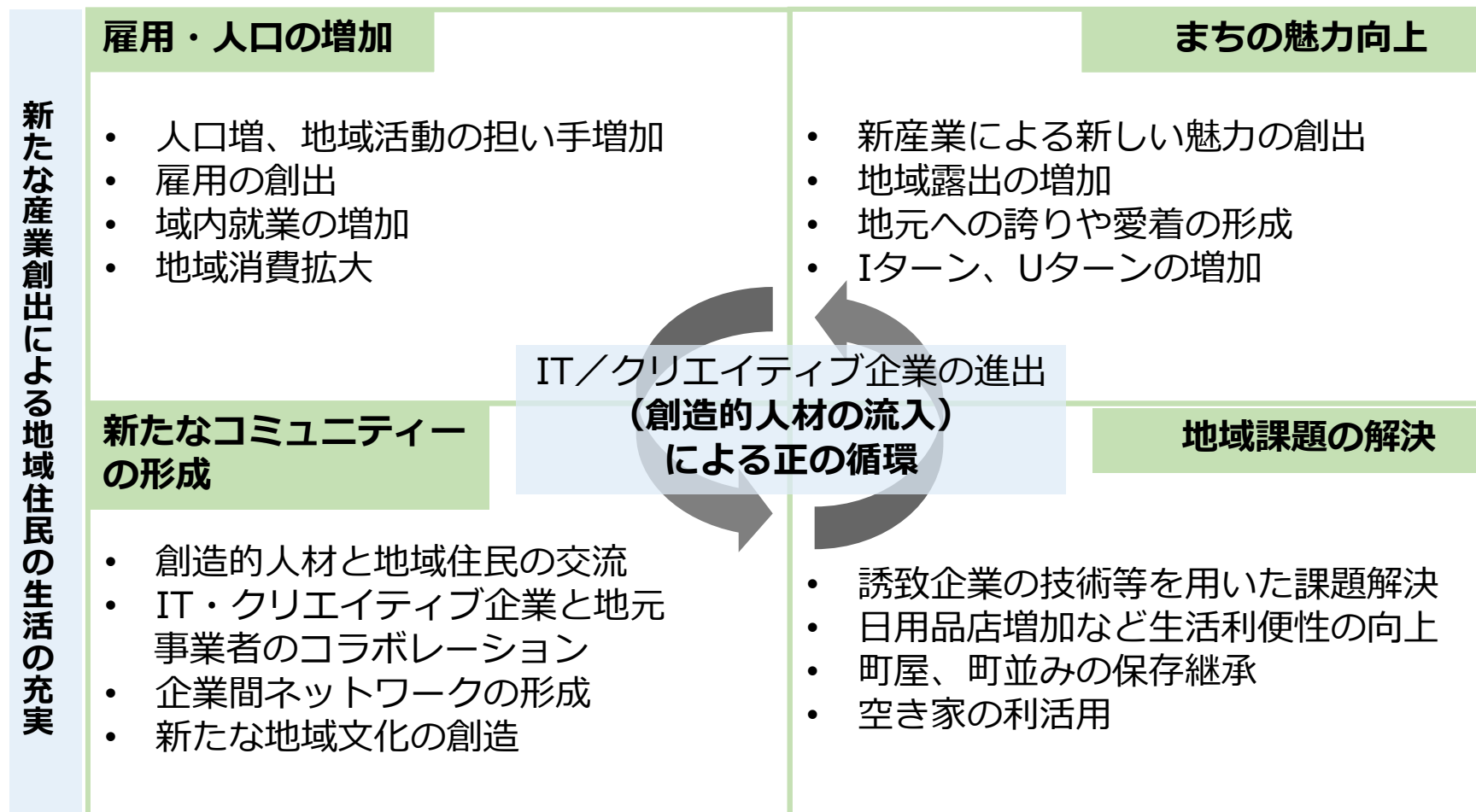


歴史・文化

本市の企業誘致の取り組み

目指す未来

IT／クリエイティブ企業の進出は、奈良町が自然継続的に維持・発展する礎の創出に寄与する。**住民の「暮らし」をより豊かにし、地域の活力を生み、「雇用を生み出し、次世代の担い手を育てていく」サイクルを生み出していく。**



これまでの企業誘致実績

(株)誠勝の立地について

令和3年2月、(株)誠勝は、関西拠点となる「奈良支店」を奈良市に開設し、関西初進出のスキャナー等を設置。社長やその家族を含む5名が東京から奈良市に移住。



■複数の候補地の中から、奈良市が開設場所として選ばれた理由

- (1)大阪・京都からのアクセスの良さ
- (2)貴重資料を扱う業務の特性上、自然災害のリスクが少ない地域であること
- (3)教育水準の高さ

- ➡東京本社と奈良支店は大型モニターで常時繋がっており、シームレスなコミュニケーションを実現している。
- ➡5名の雇用を募集したところ約70名の応募がありました。
- ➡スキャナー等の設備の導入や従業員の増加など体制強化により会社全体として生産力が増え、大型案件の受注増に繋がり、売上高が前年の同期間と比べ、1.5倍に増加。



奈良市との立地協定式



(株)誠勝 奈良支店



大型スキャナー

これまでの企業誘致実績

パーソルテンプスタッフの立地について

令和4年4月、パーソルテンプスタッフ(株)は、札幌・久留米につづく3拠点目の「ジョブコーディネートセンター」を奈良市に開設。



PERSOL

パーソルテンプスタッフ

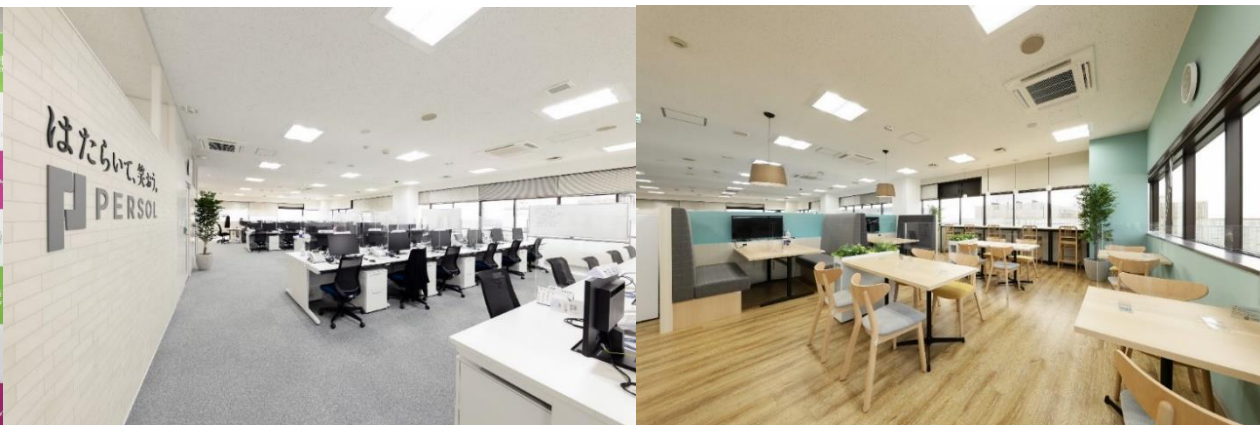
■11の候補地の中から、奈良市が開設場所として選ばれた理由

- (1) 勤勉で優秀な人材、都市部でのオフィスワーク経験がある人材が豊富な地域
- (2) 大阪・京都からのアクセスの良さ
- (3) 自然災害のリスクが少ない地域で、BCP対策の強化が図れること

➡女性を中心に想定より多くの応募があり、かつ優秀な人材が多かったため他地域と比較して採用率も高く20～50代で幅広い年齢層の55人が採用された。事業拡大を見据え、事業所の増床および190名体制まで増員を計画している。



奈良市との立地協定式



パーソルテンプスタッフ(株)奈良ジョブコーディネートセンター 執務室・コラボレーションスペース

これまでの企業誘致実績

ジェネロ株式会社の立地について

令和5年11月、ジェネロ㈱は、「奈良オフィス」を奈良市に開設。



■奈良市が開設場所として選ばれた理由

- (1)子育て環境が充実していること
- (2)優秀な人材が豊富であること
- (3)オフショア拠点のインドに対してニアショア拠点として奈良がシルクロードの終点であること

➡奈良でDX人材の育成や雇用を進め、リモートワークと通勤のハイブリッド勤務、時短勤務、フレックスタイムなどの多様な働き方を可能と子育て世代でも働きやすい会社を目指す。

➡雇用創出を通じて地域活性化に貢献し、地域とともに持続的成長を目指す。



奈良市との立地協定式



ジェネロ㈱奈良オフィス 執務室

本市の奈良市進出企業に対するサポート体制

奈良市サテライトオフィス等設置推進補助金

サテライトオフィス設置にかかる**初期費用(最大500万円。本社設置の場合は最大600万円)**を支援する制度を創設した(令和2年10月より)。



魅力的な環境と人材がサテライトオフィスの成功を後押しします。
企業の成長戦略やBCP対策の一環として、奈良市にサテライトオフィスを設置する奈良県外の事業者を対象に、開設に必要な初期費用を支援します。

こんな事業者にお使いいただけます!



助成対象企業第1号「株式会社誠勝」の奈良オフィスの様子

- ・奈良県内に本社及び事業所がない企業
(市内のコワーキングスペースや奈良市認定シェアオフィスの個室からの移転は可)
- ・3年以上継続して事業を行っており、従業員を5人以上雇用している企業
- ・IT・クリエイティブ企業
[情報通信業、デザイン業、研究所ほか、AI・IoT等デジタル技術を活用した事業や業務等]

補助対象となる事業

- ・令和6年3月31日までにサテライトオフィスを開設すること。
- ・新しく設置するサテライトオフィスの面積が10㎡以上であり、3年以上操業を継続することが見込まれるもの。
- ・市の企業誘致の広報に協力すること。



補助対象経費

- (1) 開設費
- ・設計費、工事費
 - ・設備投資費
 - ・什器・機器導入費
 - ・改修中の賃借料^{※1}
 - ・求人広告費 等

- (2) 運営費
- ・開業後初期の賃借料^{※1}

^{※1} 賃借料については共益費を含み、最大7カ月間(その間にサテライトオフィス開設月を含む)。

補助割合・補助上限額

2分の1

100㎡以上	500万円 ^{※2}
50㎡～100㎡未満	200万円 ^{※2}
30㎡～50㎡未満	100万円
10㎡～30㎡未満	50万円

認定シェアオフィスの個室への入居の場合

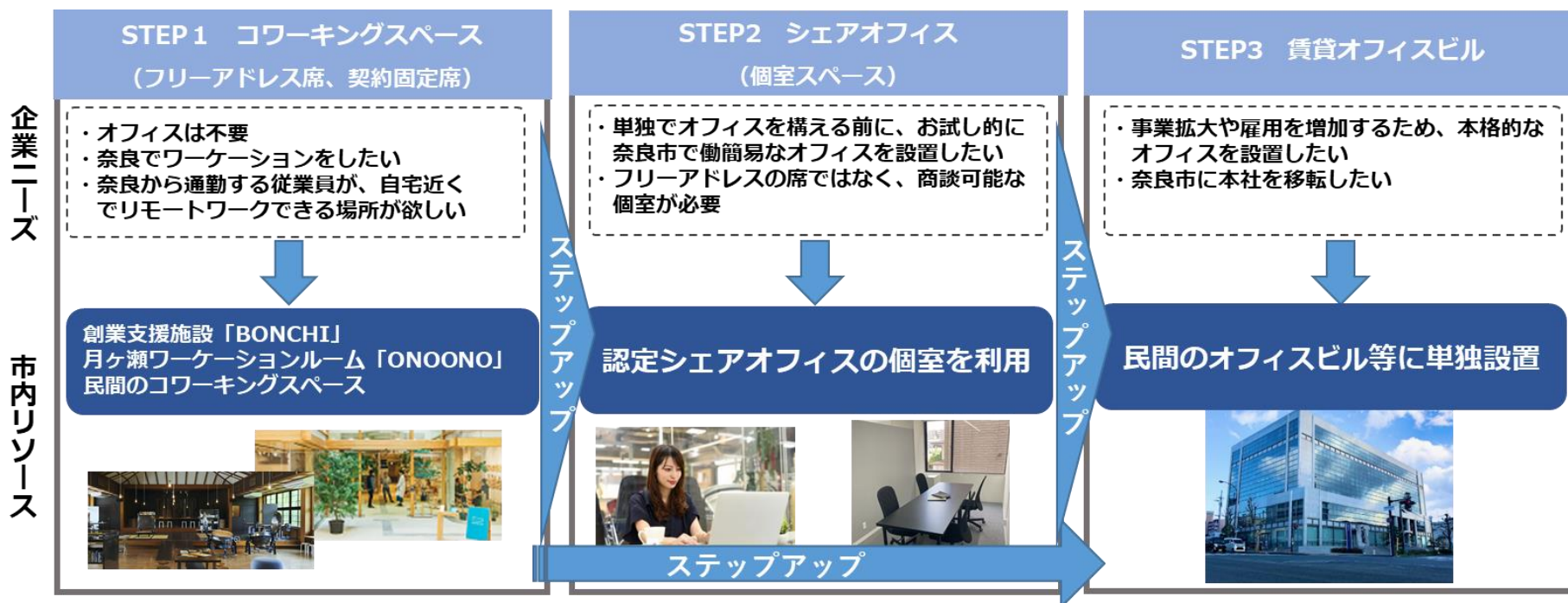
30㎡以上	50万円
10㎡以上～30㎡未満	30万円

^{※2} 本社を設置する場合は、本社設置加算100万円

本市の奈良市進出企業に対するサポート体制

奈良市サテライトオフィス等設置推進補助金

令和4年度には補助金の内容について大幅な改正を行い、これまでは100㎡以上のオフィス開設のみを対象としていたところ、100㎡未満の小規模立地や、奈良市が認定するシェアオフィスから市内のオフィスビルへの拡大移転についても支援対象とすることにより、奈良市での事業のステップアップをより強くサポートする体制を整えました。







かんでんCSフォーラムの事業のご紹介



お客さまと企業、心をつなぐパートナー

かんでんCSフォーラム

会社名	株式会社かんでんCSフォーラム		
所在地	大阪市都島区東野田町1-5-14 京橋フロントビル		
設立年月日	2003年5月14日		
資本金	4,525万円	株主	関西電力株式会社(100%)
代表者	代表取締役社長 藤友 英教		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・電話代理応答業務およびこれに関するコンサルティング業務 ・市場調査業務 ・労働者派遣業務（一般労働者派遣事業〔(派)27-301822〕、有料職業紹介事業〔27-ユ-303426〕） ・情報処理サービス業務 ・販売促進、新商品開発に関するコンサルティング業務 ・広告業務、広告代理店業務 ・酒類販売媒介業 		
従業員数	2,630名（2023年3月末現在）		
売上高	127億7,400万円（2022年度）		
自社センター稼働席数	心斎橋センター：約650席、京橋センター：100席 福岡中洲センター：83席、福岡天神センター：35席、青森センター：108席		
取引企業	電力・通信・鉄道・家電・生損保・通販・医薬・食品・官公庁・大学等		
加入団体	一般社団法人 日本コールセンター協会、 公益社団法人 日本マーケティング協会		
外部認証	   		

**かんでんCSフォーラムは、お客さまと企業の声と心をつなぐベストパートナーを目指し
関西電力グループ内外から幅広く業務を受託しています。**

CONTACT CENTER 事業

- お客さまの拠点内にあるセンターでの運営委託（人財派遣サービス含む）や、かんでんCSフォーラムの自社センターでのアウトソーシングサービスをご提供します。
- センターの構築支援から実際のセンター運営までトータルでご提供します。
- コールセンターの品質管理、研修支援などのコンサルティングも行います。

マーケティング
事業

IT・
コミュニケーション
事業

各種サービスメニューをお客さまのご要望に沿った業務形態でご提供します。

インバウンド（受信）業務

- インフォメーション業務（サービス問合せ・電話取次）
- カスタマーサポート業務（契約受付、テクニカルサポート）
- 販売受付・販売勧奨業務（新規受付、受注受付）
- リテンション業務（解約阻止、キャンセル阻止）

アウトバウンド（発信）業務

- 獲得・営業系コール（アップセル、クロスセル）
- リレーション強化（サンキューコール、フォローコール）
- 調査系コール（世論調査、市場調査）

BPO業務/その他

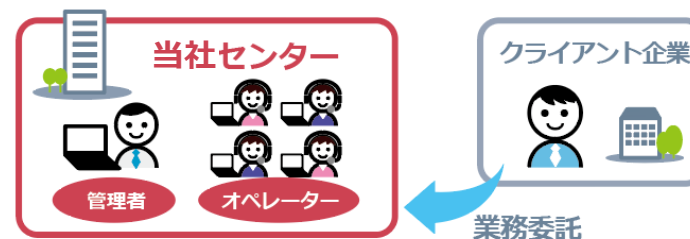
- WEB受付業務、データエントリー
- キャンペーン事務局運営
- キットアップ業務（PC設定・セットアップ）
- ナレッジマネジメント（FAQ構築・保守、VOC分析）
- フィールドサポート（カスタマーサポート、セールス）
- 在宅コールセンター（システム含むパッケージ提案）



当社施設 利用

● アウトソーシングサービス

当社施設内でお客さまのコールセンター業務に関する委託運営を行います



お客さま施設 利用

● コンタクトセンター運営委託サービス

お客さまの施設内で弊社にてコールセンター運営を代行します



● 人材派遣サービス

当社のSVやオペレーターを人材派遣します



心齋橋第1・2・3・4センター

開設：2009年11月
以降順次

- 所在地：大阪市中央区南船場
- 席数：約650席



福岡天神センター

開設：2016年10月 ●所在地：福岡市中央区天神1丁目

- 席数：35席

京橋センター

開設：2022年1月 ●所在地：大阪市都島区東野田町1丁目

- 席数：100席

福岡中洲センター

開設：2022年12月 ●所在地：福岡市博多区上川端町

- 席数：83席

青森コンタクトセンター

開設：2023年7月 ●所在地：青森市本町1丁目

- 席数：108席



福岡天神センター内



京橋センター内



福岡中洲センター内



青森センター内

※2024年1月12日時点

奈良新大宮センター

- 開設日 : 2024年1月
- 所在地 : 奈良市大宮町四丁目
- 最大席数 : 89席
- 雇用予定 : 最大150名程度



外観



内観



執務室



休憩室

■災害リスクと交通アクセスにおける地理的特性

奈良市は、海、火山、大きな河川がなく、自然災害のリスクが少ない地域であり、BCPを意識した事業環境として非常に適しています。また、奈良市新大宮は、電車やバスの路線が豊富であること等交通アクセスの利便性が高く、当社の本社（大阪市都島区）や他のセンターともスムーズな連携を図ることが可能だと考えています。

■優秀な人財の確保

奈良市内には多くの教育機関が集積（7大学1短大15専修学校）しており、勤勉で優秀な人財が多い

エリアと考えられています。また、奈良市内での勤務を希望されている方が多く居住されているため、優秀な人財の確保を期待できると考えています。

■奈良市の充実した支援

奈良市は新規ビジネスの立ち上げに際し多数の支援策があり、ビジネスを展開しやすい環境といえます。具体的には、物件探しの段階から事業開始後の支援まで「企業立地コンシェルジュ」による充実したサポート体制があります。また、拠点開設に必要な初期費用への支援等もあり、コールセンターの開設にあたってスムーズな運開を見込んだものです。



立地協定概要

《協定背景》

- ・奈良市は県外就業率が高いものの、職住近接の実現のため、市内での勤務を希望されている方が多くいらっしゃることから、企業誘致を通じた地域雇用拡大へのニーズがあります。
- ・かんでんCSフォーラムとしては新センターの開設にあたり、人財の確保が必要となります。
- ・両者が相互に協力することで、地域経済の振興や発展に寄与することをねらいとしています。

《相互協力の内容》

- 奈良市：かんでんCSフォーラムの円滑な事業運営のサポート（雇用促進等）
- かんでんCSフォーラム：奈良市地域内での雇用機会の拡大と地元の産業振興

今後の展望

まずは奈良新大宮センターの安定的な稼働を目指し、順次採用拡大を進めてまいります。